

- 1 第5旅団創立記念行事
- 2 新潟中越沖地震災害派遣
- 3 帯広駐屯地平原祭り参加
- 4 本別きらめきフェスタ2007

ひがし北海道だより

陸上自衛隊
第5旅団広報誌

発行所

第5旅団司令部
総務課 広報班

第45号(1)
2007. 9



第五旅団創立三周年・帯広駐屯地創設五十六周年記念行事

帯広地本募集
携帯用QRコード



第五旅団(旅団長 寺崎陸将補)は、平成十九年九月九日(日)、第五旅団創立三周年記念行事及び帯広駐屯地創設五十六周年記念行事を挙行政した。前日までは台風九号の影響が心配されたが、台風一過、文字通りの晴天に恵まれ、来賓・地域住民・隊員家族など昨年を一五〇人以上上回る約八八四〇人が駐屯地を訪れ、楽しい一日を過ごし大盛況のうちに終了した。式典では、執行官である寺崎旅団長が「我々は日々変化する時代に適応し、その時々が発生する



第6普通科連隊隊員総勢378名による威風堂々とした徒步行進

各種の多様な事態に迅速かつ的確に対処するとともに、将来の脅威に即応し得る基盤を今後とも保持しなければならぬ。このため、武装集団としての矜持(きょうじ)を持ち、実力の涵養に努め、より即応性実効性を高め、真に役立つ強くしなやかな組織として今後とも地域の皆様の期待や信頼に応えられるよう日々努力することを改めてここに決意する。」と式辞を述べ、続いて中川昭一衆議院議員、鈴木宗男衆議院議員、石川知裕衆議院議員及び砂川敏文帯広市長から祝辞を戴いた。引き続き行われ



記念式典において式辞を述べる執行官 寺崎旅団長

た観閲行進では、観閲部隊指揮官の濱崎副旅団長を先頭に隊員一七三三名、車両(戦車・装甲車など含む)一八一両及びヘリコプター十機が堂々たる行進を行なった。今年は、第六普通科連隊隊員二七八名による威風堂々とした徒步行進も披露され会場からは大歓声が贈られた。迫力があり観客から人気の高い訓練展示では、生で聞く火砲・戦車の空砲射撃による轟音に、訪れた観客はその迫力に圧倒されていた。そして、二年振りに第一空挺団による空挺降下も行われ会場を盛り上げた。また、アトラクション会場においては、旅団管内各地の名産品等品揃えも豊富な模擬売店二十四店が出店され、希望の品物を求めて来場者の長い列が続いた。毎年人気のチビ子広場、第五音楽隊演奏、よさこいソーラン、バトントワリング、装備品展示・試乗コーナー及び駐屯地資料館見学コーナーは今年も大盛況のうちに終了した。また、第五旅団広報班と帯広地方協力本部合同による広報コーナーにおいては、チビ子を対象にしたミニ制服・戦闘服を試着しての記念撮影コーナーも設けられ、家族連れで大いに賑わった。また、記念祝賀会会場においては帯広市自衛隊女性協力会による野点コーナーが設けられ来賓を始め、多くの方が利用した。また、前日には、殉職隊員の追悼式も執り行われた。



空挺隊員の凄さを見せつけた
空挺降下



堂々の迫力 観閲行進



記念祝賀会食場にて旅団長を囲んで乾杯をする中川昭一議員(中央左)、鈴木宗男議員(中央右)ら来賓の方々



毎年長い行列が出来る体験試乗コーナー



かわいらしいチビッコによるバントワリング

創立記念行事ベストフォト特集

新潟中越沖地震災害派遣 ライフライン復興に向けていざ新潟へ



第5旅団入浴施設「熊乃湯」をバックに

災害派遣に参加した隊員の声

7月19日(木)～8月5日(日)までの
間入浴支援隊として初めて災害派遣に
参加した第5後方支援隊 橋詰 真知子
3等陸曹にインタビューしました。

輸送科で女性隊員の私が新潟でお役に
立てたことを誇りに思います。皆様から
の「ありがとう」は一生の宝物です。

1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

平成19年7月16日に発生した新潟中越沖地震に際し、要請により陸海空自衛隊が災害派遣活動を行った。第5旅団においても北部方面隊が編成する「北部方面生活支援隊」の一部として、給水・入浴支援の為、第5後方支援隊 小山2尉を基幹とし第1陣に給水支援隊19名(第5戦車隊6名含む)と入浴支援隊10名、8月5日には人員を交代、同じく第5後方支援隊 手塚3尉を基幹とした給水支援隊8名と入浴支援隊11名、計48名と水タンク車3両及び野外入浴セット1セットを含む車両・装備を派遣した。支援隊は、現地到着後、第12旅団の指揮下で柏崎市刈羽村中通コミュニティーセンターを拠点に計1212tの給水支援、計6486人(男3200人・女3286人)の入浴支援を実施し、住民からのたくさんの笑顔と感謝の言葉を胸に18日全員が無事駐屯地に帰隊した。



左が橋詰3曹(輸送隊)、右は同じく入浴支援



現地の子供とのふれあい

帯広自衛隊 平原まつり参加



帯広駐屯地(司令 濱崎1佐)は、第4普通科連隊長 畔田1佐を基幹として8月15日(水)・16日(木)に帯広市内で行われた帯広平原まつりのイベント「第49回おびひろぼんおどり」に駐屯地所在各部隊から踊り子等の支援を受け約80名が帯広自衛隊として参加、自衛官らしい熱い踊りを披露、沿道に詰めかけた大勢の観客を魅了するとともに、地域とともにある帯広自衛隊をアピールし、管内外から29の団体が参加した中で見事、団体の部「優秀賞2位」・山車の部「優秀賞2位」の栄冠を勝ち取った。



観衆を魅了した「ばん馬」をモチーフにした山車



帯広自衛隊一丸となった記念に

第5飛行隊 水難救助訓練

第5飛行隊(隊長 前田2佐)は、平成19年8月6日、帯広駐屯地のプール「さざなみ館」において水難救助訓練及び保命装備品の使用訓練を実施した。本訓練は飛行隊長以下38名をもって、要救助者の救助のための手順の把握及び飛行隊で装備する保命装備品の使用法を着眼に訓練した。

本訓練により水難要救助者が発生した現場に、公私を問わず遭遇した場合でも、効果的な救助が行えるとともに、航空機が万が一着水した場合でも安全確実に危機から脱する能力が向上した。近年、道内の水難者及び航空機の洋上飛行の機会が、増加した状況に即応した本訓練を今後も飛行隊は継続して能力の向上を図る。



救命胴衣装着点検



救命浮舟一号への乗り込み



本別きらめきフェスタ2007

平成19年9月1日(土)～2日(日)にかけて本別町で行われた本別きらめきフェスタ2007に第5音楽隊(隊長 松田2尉)が出演し会場を盛り上げた。

このイベントは、本別町で行われる一大イベントで十勝の夏の最後を飾る花火大会や有名歌手の歌謡ショーやお笑い芸人のショーなど多彩な催しがあり、多くの家族連れなどで賑わった。また、帯広地方協力本部(本部長 竹末1佐)も地本コーナーを設置し、募集チラシ・パンフレットや採用試験案内の入ったティッシュを配ったり、チビッツを対象にミニ制服を着せて写真撮影をして写真をその場でプレゼントするなどの広報活動を行い、訪れた家族連れに好評を得た。また、本別町を隊区に持つ第5高射特科中隊(中隊長 渡邊3佐)も第5旅団写真パネル展を開設し広報活動を行い多くの観客を集めた。第5旅団及び帯広地方協力本部は、今後も地域住民の自衛隊に対する理解と協力を深めていくとともに一人でも多くの適齢者情報を獲得する為、各地で行われるイベントに積極的に参加し、広報活動を実施する予定である。



会場に華を添えた第5音楽隊演奏



ミニ制服を着てご満悦のチビッツたち